

令和4年度中川区区民会議

意見収集の場「なかが話」報告書



主催：中川区役所

企画運営：パブリック・ハーツ株式会社

目 次

中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」	1
----------------------	---

令和4年度「なかが話」開催日時等

意見収集の場「なかが話」実施報告	2
------------------	---

「なかが話」の流れ	2
-----------	---

安心・安全きれいなまち	4
-------------	---

みんなにやさしいまち	12
------------	----

魅力あふれるまち	16
----------	----

<添付資料>

参加者アンケート結果

事前ワーク用紙

中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」^わ

中川区では、区民の皆さまの区政への参画を推進し、区の将来の方向性等に関し、ご意見をいただくため、学区区政協力委員会委員長及び各種団体の長の皆さまからなる「区民会議」を開催しています。

また、区民会議の開催にあたり、さまざまな年代・立場の方々から、より多くの意見を聞く場として「なかが話」（中川区の将来について話し合う場）を開催しています。

今年度の『なかが話』では、令和6年度からの「次期中川区将来ビジョン」策定を見据え、区将来ビジョンの中の3つの「めざすまちの姿」について、各テーブルに分かれ、話し合いをしていただきます。

令和4年度「なかが話」開催日時等

◆日 時：令和4年11月6日（日） 15時30分～17時30分

◆会 場：中川区役所 講堂

◆参加者：区民会議構成員から推薦された区民19人が参加

◆テーマ：中川区の将来について一緒に考えましょう

A グループ：安心・安全きれいなまち 参加者（5人）

B グループ：安心・安全きれいなまち 参加者（5人）

C グループ：みんなにやさしいまち 参加者（4人）

D グループ：魅力あふれるまち 参加者（5人）



意見収集の場「なかが話」実施報告

「なかが話」の流れ

■□あいさつ 15:30～15:35 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- ・ 主催者を代表して中川区役所企画経理室の渡邊室長が挨拶し、今回の参加者皆様へのお礼と、企画の趣旨を説明しました。
- ・ ファシリテーター挨拶…進行役のパブリック・ハーツ（株）水谷氏より、「なかが話」のねらい、進め方、お願いを伝えました。

■□情報提供 15:35～15:45 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- ・ 渡邊室長より、次期中川区将来ビジョンの策定にむけて、情報提供を行いました。
- ・ まず、現在の区将来ビジョンの3つの将来像と、区民アンケートの満足度について報告を行いました。
- ・ つぎに、次期区将来ビジョンの策定方法を説明しました。とくに、前提として、人口が減少することとそのスピードが予想よりも速いことが紹介されました。

■□ウォーミングアップ 15:45～15:50 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- ・ 意見交換の準備体操として、二人一組で「話し手」「聞き手」に分かれ、お題「私にとって、区内で一番大切な場所」について、話す、聞く、というワークを行いました。
- ・ 参加者の皆さんには、リラックスいただき、また日常生活から、今回のテーマに頭を切り換えていただくことができました。

■□グループワーク 15:50～16:40 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- ・ 4つのグループに分かれ、グループファシリテーターの進行により、自己紹介を行いました。
- ・ つぎに、お題（①理想的な未来、②具体的なイメージ）について、個々に付せんに意見を記入しました。

- 一人ひとりの付せんを紹介しながら、意見を共有し、整理していきました。この過程で、理想的な未来を実現するための鍵を考えました。

■□全体発表 16:50～17:15 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 各グループの代表者から、3分以内でグループワークの内容が発表されました。
- グループワークの結果は、担当したファシリテーターが取りまとめ、本報告書にて報告します。

■□おわりに 17:15～17:20 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 渡邊室長よりお礼の言葉と今後に向けた言葉を述べられ、閉会の挨拶を行いました。
- 最後にアンケートに記入いただき、終了しました。

テーマ：安心・安全・きれいなまち

<A グループ>

●：シール投票の結果

地域防災力の向上	
自助ですとよいこと	・インスタントラーメン、カップ麺を常時備蓄している。 ・前日の風呂の水を翌日に入浴する前まで溜めたままにしておいて、夜間の災害時に備えている。
「近助」が実現するために必要なこと ●●●	・ 7日間生き延びる自主防災を進めるのがよい。 ⇒炊き出しができるための備品・消耗品の倉庫を町内会（自治会）で作った。具体的には、100人×2食分（一日につき）×1週間分（7日）＝1400食分を用意した。ただし、町内の各自宅で水は備蓄し、災害時にはその水を持ち寄ることにしている。しかし、マンションはそれぞれの管理組合のルールがあるので、戸建て世帯だけで構成し行った。戸建て世帯は約300世帯あるが、そのうちの100世帯分しか準備できなかったのもので、残り200世帯分をどうするか、及び他の地域から流入する人々も含めて対応をどうするが今後の課題である。この防災備蓄のための予算は、町内会費でまかになった。 ・ 毎年、啓発活動しよう！ ・ 要支援者と高齢者・赤ちゃんがいる家庭の情報の確保・共有が必須！ ⇒情報共有のために、公的機関の各所連携のしくみづくりが必要。
情報の周知の必要性	・ 安心安全に避難所へ行けるようにしてほしい。 ⇒町内会の人々への周知が必要であるが、役員や防災訓練に参加する子ども会などの町内会行事に参加する人以外は、何もわかっていない状態である。 ⇒町内会の役員以外も防災知識を得られる工夫が必要である。 ・ 津波による水害防止策を施してほしい。 ・ 情報周知のために、中川区のアプリがあればよい。 ●● ⇒中川区にもHPや広報なごやなどに防災マップや災害対策のアプリが掲載されていたりするが、それらを見ている人は少ない。せっかくアプリを市や区の予算をかけて作っても、知られていなければ意味がない。情報がみんなに知られていなくてもいい。 ⇒役員や防災意識がある人「以外」にも情報を周知するための取り組みが必要である。 ・ 消防団の充実を希望したい。

防犯対策・交通安全	
交通安全のための対策	・通学路にバンプ（道路にちょっと盛り上がっている、スピードを落とすためのもの）の設置を行ってほしい。 ● ⇒区役所・警察に言うと、「予算がかかる」「設置すると大変」と言われて断られてしまう。） ・児童の通学路の安全のため、歩道・自転車専用道を作ってほしい。 ●●● ⇒大きな事故が起こらないと、警察や行政が動かない！事故が起きてからでは遅い！ところが、地元密着型のベテランの市議会議員・県議会議員（国会議員はあまり動いてくれない）に言うとなぜか行政が動く。いったいどういうことか？ ・住民全員が「知り合い」になるとよい。 ●● ⇒知り合わないと、共助・「近助」ができない！ ⇒役員をやりたくない人が多い。イベントをしても参加者が少ない。景品を豪華（お米5kgなど）にしても、参加しない！ 「役員は楽しい！」って思えるしくみは何だろう？ - 役員になると、文句を言ってくる人がいるのが困る。 ・交通事故ゼロ運動 - 自動車運転免許を持っている人は交通ルールがわかるが、持っていない人々や子どもなどの自転車を運転する人はルールを知らないで、逆走などもあり危険である！ ⇒小学校の全校で、自転車教室をしてほしい！
安心・安全の意識を持つ	・安心・安全を考えることは、同一の価値観で考える事であり、権利と義務についても知ることができる。「誰かのおかげさまで何事もできている」ということを再確認することができる。
人の目がある地域づくり	・地域行事に参加する。子ども会への参加を促進する。 ● ・よその子は誰の子？ ・わたしの子どもは、地域みんなの子！という意識を持てたらいいね！ ・子どもも親もイマドキ忙しいが、みんなで見守れる社会にしよう！
中川運河沿い倉庫街で プロジェクション マッピング	・まちが暗いと、外出するのがおっくうになり、交通事故が発生するなど心配が増える。明るい夜を作って、安心安全なまちづくりをしよう！
環境美化	
地域の方々がきれいが 保てる地域づくり	・コロナ禍のため、クリーンキャンペーンが2年間なかった。川沿いの人々が清掃したり、台風前には雨どいの掃除をしている。さらに、緑政土木局が年3回しか樹木の剪定をしてくれない！ ⇒プロギング（ジョギング＋ごみ拾い）のイベントを実施したい！

	(主催は、公園愛護会かな?と思ったが、公園愛護会は「公園」のことで忙しいので、他が主催で行うのがよい。)
街の美化のための取り組み	• 公園や道路にごみ箱(可燃ごみ、プラごみの2種類)を置く。 ●● • 運河沿いの美化については、フェンス内のごみ拾いがしたいが、鍵がかかっている。⇒鍵をあける方法を自治会に教えてほしい。
多様性を認め合える地域づくり ●	• マイノリティを尊重できる地域になるとよい。 ⇒年齢問わず、いろんな事情の人同士が認め合えると、助け合えることが増える。
お年寄りが一番元気な町に!	• 高齢者にはどんどん活躍していただき、若い世代にその背中を見せていただければよい。(高齢者は若い世代を応援する姿勢でいてほしい。)
中川運河沿いにドッグラン広場を作ればよい。	• 犬の散歩をしている人は多いが、走らせている人を見かけない。ドッグランを作れば、動物愛好家たちが集まり、友人・知人づくりのきっかけの場となる。 ⇒ふんの始末はきちんとしてほしい。 ⇒ペット愛好家たちのための、しつけ教室も行う。
ファシリテーターのまとめ	
●「なかが話」で、あいういお作文にまとめました。 「な」なかなか情報が伝わってないよ!なんとか工夫して! 「か」かんしんを持ち合おう! (「かんしん」は「関心」と「感心」の両方の意味が含まれている可能性がある。) 「が」がっこう全部で自主炊き出し・備蓄をしよう! 「わ」わたしの子どもは、地域の子!みんなで守ろう!	

<Bグループ>

●：シール投票の結果

災害対策が進んでいるまち	
自然災害を発生しにくくする	想定を超えた集中豪雨に備えて、道路などの水はけを整える。
自然災害に強いまちをつくる	- ライフライン（電気、水道、ガスなど）の供給が確保できていて、災害に備え点検を徹底する。 - 地震が発生した時に二次災害が発生しないように、準備や点検、啓発を行う。
住民が災害対策をして避難所を把握している	避難所に宿泊して、備蓄品や食料などを実際に使ってみる。実際にやってみることで、災害のときに右往左往しないように現実性の高い訓練とする。●●●●
交通安全が進んでいるまち	
交通事故が限りなくゼロに近いまち	- すでに取り組んでいるよい活動を周知徹底する。 - 子どもの安全な登下校のために、緑のお姉さん、スクールガードリーダー、PTA、民生委員、防犯委員など、たくさんの人たちが、それぞれいい活動している。●● - しかし、それぞれの情報が共有連携していないように思われ、もったいない。 - 役所、学校、PTA、町内会が連絡協議会で連携はしているが、さらに無駄のない情報共有をする。代表が団体に持ち帰ってからの情報共有の仕方の工夫も必要。
電信柱のない歩道	電信柱で歩道が狭くなっているのを、電信柱を撤去し、地中配線に改善する。
道路に蓄光の技術を活かし道路全体を明るくする ●	- 産学共同で蓄光システムを研究する。 - 企業に蓄光の技術のアイデア募集を行う。 - 企業の地域への社会貢献を推進する。●●●●
防犯対策が進み安心なまち	
子どもが安心して遊べるまち	小学生と幼児と一緒に遊んでいるときの危険回避のために、遊具を分けて遊ぶようにする。
犯罪が限りなくゼロに近いまち	- 日ごろから挨拶をし合う。 - 学校では、児童生徒に対し、知らない人と声を掛け合わない指導が進んでいる。その結果、挨拶が促進されないことも生じる。
防犯灯、街路灯の電気代	- 防犯灯の設置は防犯安全のために公共性が高い。町内会の街路灯の電気代は町内会で支払っている。町内には町内会に入っていない人もいるので、不平等を感じる。行政で電気代を払ってもよいと思う。 - 防犯灯は、危険であれば町内会に入っていない人の家の近くにも行政

	により設置してもらえる。 防犯カメラなど町内会にとって必要なものは町内会で購入している。町内会に入っていない家庭にはその恩恵がある。
ごみが少ないまち	
道、歩道にごみが落ちてないまち	- コンビニエンスストアが多いためか、買い喰いしたごみが落ちている。路上で見つけたごみを拾ったとき入れられるような、トング付きごみ箱の設置をする。●● - ごみを見つけた時すぐ拾い、ごみ箱に捨てる習慣があればよい。 3人の方がボランティアでごみ拾い活動を継続している。そのような方に対して「ありがとう」の声掛けをするとよい。
ごみが落ちてないまちづくりをする	- ごみ収集車が来るのが遅い（午後3時、4時）ため、朝出したごみ袋をカラスなどにつつかれてごみが散らばる。 - 市に回収時間を早めてもらうことをお願いする。せめて午後の早い時間までに回収をお願い。 - ごみ集積場所に早くごみ収集車が来ることで、ごみの散らばりを解決する。 - ネットをかけるなど、出し方も工夫しているが、限界がある。 - 保健委員とも協力して、個人個人の出すときのルール向上に努めていく。
景観が美しいまち	
電信柱を無くして景観を整える	都心では電信柱を撤去しているので、私たちのところでも実施してほしい。
街路樹が整備されていて、季節感のあるまち	季節ごとに美しい街路樹（銀杏並木、桜並木など）を植栽する。
健康安心なまち	
24時間対応している病院	- 高齢者、子どもが安全に暮らせるためには大切なこと。 - 三交代制で、24時間体制を確立する。● - 医師も交代で、24時間出勤するシフトを確立する。
町内会（自治会）の活性化	
皆が参加している町内会とする	- 同じ人が役員をしている。一方では加入していない人もいる。 - 地域の美化とか安全は、地域のつながり（町内会活動）がないと成り立たない。 - 町内会は防災とか美化活動に力を発揮するので、行政はSNSやLINEでの情報発信を支援してほしい。 - 町内会を脱会する人がいる。町内会による我がまちの恩恵を得ているので、我がマチ愛を啓発する。

	・町内会の仕事量が増えると町内会に入らない。 ・高齢者世帯は、地域活動に対して動けない。その現実を理解することは必要。
地域住民との 適度なつながりがあるまち	・アプリで自治会の情報を見れるようにする。 ・自治会向けのLINEで常に情報発信していく。一方では、SNSを活用しない高齢者や生活弱者には直接的な情報伝達が必要。
自治会活動を見直す	・輪番制だけで進んでいると何が何だかわからないままに進んでいくという仕組みの改革に取り組む必要がある。 ・役員が1年ごとに変わると改善が進まないの、2年間役員をして改善を試みる。 ・会長が変わるとルールが変わり、戸惑ってしまう。 ・自治会制度の見直しをする。 ・企業が自治会加入して、社会貢献すると、企業にもメリットがある仕組みを作る。

ファシリテーターのまとめ

ワークショップの中の対話から感じ取ったことを記す。

1. 「安心・安全きれいなまち」の核には、町内会（自治会）やNPO団体の存在がある。その活動なしに実現できない。その理解を住民に伝えていくことの大切さを感じる。「民でできることは民で」のレベルを上げることがとっても大切。高次の住民自治である。
2. 町内会（自治会）の中での合意形成不十分なまま進んでいる。協議会の意向や会長などの思いが末端まで伝わっていない。
3. 町内会の業務が多いと役のなり手がいない。しかし、適度な活動があることで自治意識を醸成できる。そのバランスが難しい。
4. 町内会活動は、コロナ禍、忙しさ、SNSの普及などの環境の変化で直接対話が減る傾向にある。SNSをうまく活用することは大事なことであるが、直接対話で丁寧に合意を図っていく中で、決め事の確認だけでなく、気持ちや関係性を感じ取ることも大切である。

Bグループ
中川区の将来について
いっよに考えよう
—安心・安全な、きれいなまち—

**地域内での
声かけに優
待のなし!**

安全 **交通安全** **防犯** **景観**

安全
 自然災害が
発生しない
まち
 災害に
強い町。
 住民全員が
災害対策を
して、避難所
所を指定して
いる。

交通安全
 交通事故
ゼロ
（少ない）
 歩道、自転車
道、車道
が広く、安全
なまち。
 歩道、自転車
道、車道
が広く、安全
なまち。

防犯
 子供が
安心して
遊ぶ町。
 犯罪率
ゼロ
（少ない）
 犯罪率
ゼロ
（少ない）

景観
 まちの
景観が
美しい
まち。
 街並みが
きれいで、
緑が多い
まち。

健康安心
 安心！
24時間
病院
 地域住民
（特に老人・子供）
が安心して
暮らせる
まち。
 高齢者
の生活
をサポート
するまち。

環境
 歩道に
ゴミが
落ちていない
まち。
 ゴミの
ない町
 歩道、自転車
道、車道
が広く、安全
なまち。
 ゴミの
ない町
 歩道、自転車
道、車道
が広く、安全
なまち。

町内会の充実
 みんなで
町内会を
活用する
まち。
 町内会
の活動が
活発な
まち。
 町内会
の活動が
活発な
まち。

テーマ：みんなにやさしいまち

<Cグループ>

●：シール投票の結果

将来投資のために子ども&子育て世代を応援しよう●●	
子どもが楽しく遊べる まちにしよう	・ 広場や公園の提供・確保。公園はあるけれど、あまり利用されていない部分がある。子どもの数も少ないし、コロナ禍の今、外でなかなか遊ばせない。子どもたちが近所の公園でもっと遊びたくなるようにしてほしい。
働きづらさを解消して、 子育てしやすい まちにしよう ●	・ 0～2歳の保育費無償化。 産休中の娘がいるが、保育料が高すぎて預けるより家にいることにした。働きたい身として切実。 ・ 入りたい時に保育園に入れる。 子育て世代の労働力を活用するために、若い人をもっと大切にしてほしい。子どもの月齢によっては保育園に入りにくい。また、そういう情報が第一子の親に伝わりにくい。 ・ 子どもの数に対する保育士の増員。給料を増やしてほしい。 保育士の待遇アップして、親が安心して預けられるようにしてほしい。 ・ 一時保育の予約を24時間とれるようにしてほしい。 ・ 不登校児を減らしてほしい。 学校に別室登校できるスペースと人材があるといい。本当の教員だけでは対応できない。2～3校区に一つでもいい。登校とみなせて教員が見てくれるような場所を用意してほしい。 ・ フリースクールを増やしてほしい。 みんなと同じが苦手な子もいる。その子のニーズにあったスクールが何個かあったらよい。一宮にはいくつかある。 しかし、それ（フリースクールなど）がどこになるかわからない。どうやって調べればいいのかわからない。それが親にわかるとよい。情報がわかりやすくネットなどで得られるとよい。 民間のフリースクールの事業所が増やせるとよい。 ・ オンラインでの登校を認めてほしい。 家から出られないお子さんは、オンラインでの授業とかできるとよい。 コロナでオンラインがやりやすくなった。子どもたちがタブレットもせっかく持っているのでうまく活用してほしい。 ・ 母子家庭にもやさしいまち。 母子家庭では、有休を取らないと区役所に書類を取りに行けない。会社を休む→給与が減るなどの影響が大きい。

	・マイナンバーカード取得のために、仕事を休まなくても住民票をコンビニエンスストアで取れるようにしてほしい。 ・近隣の中で、名古屋市だけができない。
高齢者・障害者がいきいき暮らせるまちにしよう●	
アクティブシニアが自分で選べる居場所を作ろう	・元気な高齢者はしばられたくない、自由にしたい。 私達夫婦は元気で、自由にしたいので放っておいてほしいと思う。 ・高齢者・障害者が重度の場合、施設に收容されてしまうことが多いが、高齢者・障害者が地域と一緒に暮らせるまちづくりができるといい。そのために、場所の提供が重要だと思う。高齢者・障害者はあまり遠くに行けない。 ・近所で、共立病院の医者がコミセンを使って高齢者を集めて話をする例があった。コミセンは各学区、みんなの近くにある。あまり広くないが、そういう人たちが活用できる場とするといよい。 このように、高齢者・障害者が行動する場を確保する。そして外に出させる。みんなが行きたくくなるような公的な設備が必要だと思う。 ・万場学区は東西に長くて、集会所はあるが川を超えないと行けず、遠い。そこに行ける人が限られる。学区の垣根を越えていける場所があるとよい。● ・車で行こうとしても駐車場がなかったりする。千音寺学区には地域センターがあり、使いやすい。周辺は学区が混み入った場所だが、他地域で使えない。学区の垣根を越えて使えるとよい。 ・子育て関係で私は行ったことがある。誰でも使えるとよい。中川区に子育て支援センターはいくつもある。毎週開催していて、ピヨピヨ倶楽部では幅広く友達が作れた。車が停められないと厳しい。パローに駐車場できた。道もきれい。駐車場や広いスペースがあると行きやすい。 ・公園などの公的場所の確保は子どもだけでなく、お年寄りが外出したくなるように整備してほしい。
独居・病気の高齢者も地域でお互いに見守ろう	・一人で出歩けない人は援助をしてあげるとよい。 月に一回とか安否確認してあげるとか。 追及して考えてみると、純粋な一人家族は意外に少ないと思う。子どもはいるけど、実家を出てしまって面倒を見ていない家庭が多い。行政に頼ると逆にそういう人が増えるように思う。 ・子どもが遠方にいる場合は、高齢者をカメラなどで見守るとか、高齢者同士の横のつながりをもち、地域で助け合っていくとよい。近所みんな仲がいい。みんな顔を知っているという状態を作りたい。 ・新しい家とかマンションだとお隣を結構知らないということがある。

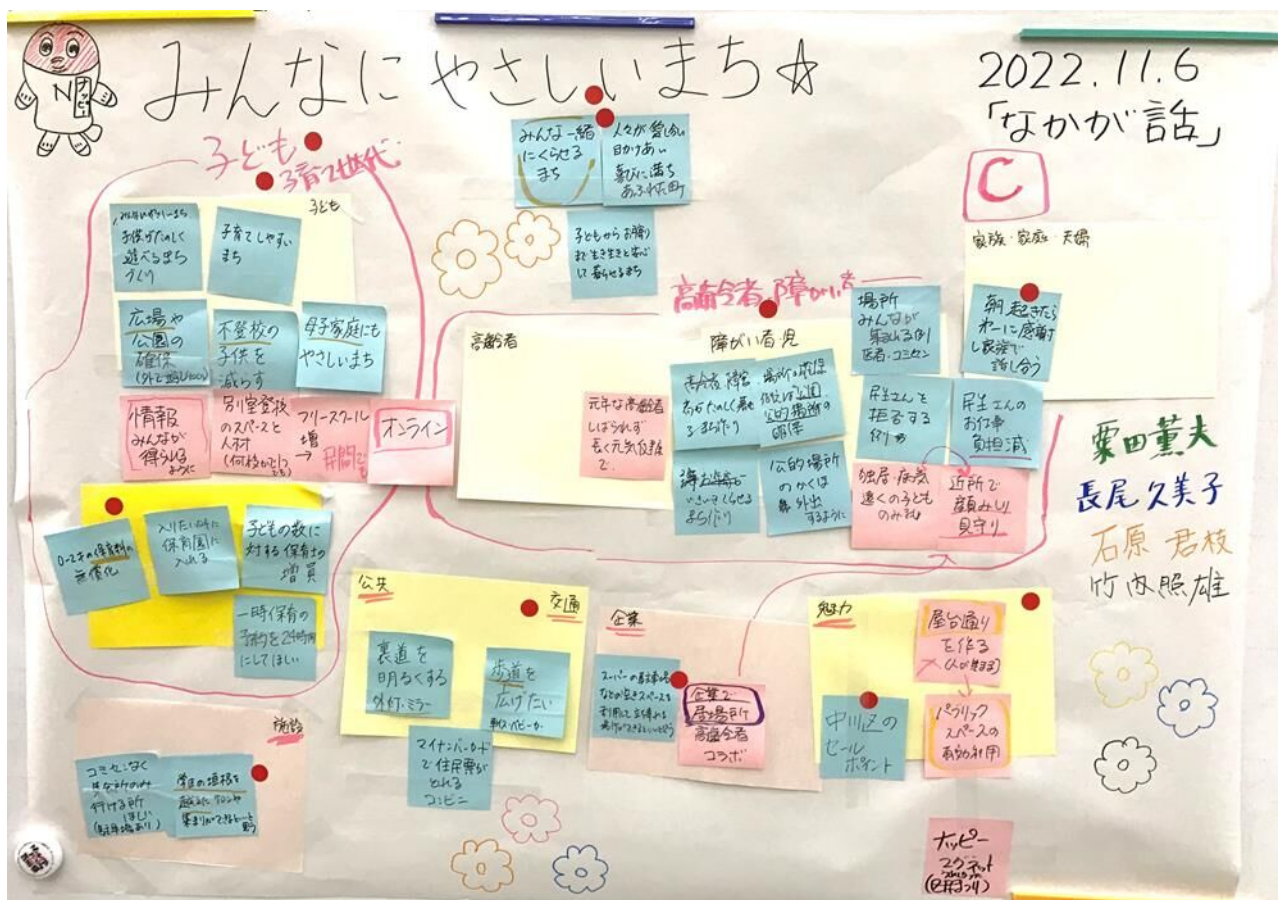
	古くからの地域だと結構みんな顔見知り。地域の定年前の男性など地域のつながりが乏しい。いずれも居場所を作るといい。
地域の目で、民生委員の負担を減らそう	・民生委員 6 年目だが、なり手がない。14 人定員で 1 人欠員で 2 名辞める。民生委員の負担が少なくなるという。 ・民生委員による見守りをお願いすればよいという人もあるが、対象者の中には民生委員の訪問を拒否する場合もある。また対象が増えると民生委員が一人では訪問しきれない。将来的に、遠隔で子どもによる見守り、近くの顔見知りによる見守りなどにより、民生委員の負担が減少するとよい。
人が集まる場所づくりをしよう●	
中川区のセールスポイントを作る●	・屋台通りを作る。 屋台通りを作って、人を集める。 納谷橋の親水広場のマルシェとか。尾頭橋堀川のパンマルシェとか。 行きたくなる。響くものがある。 屋台は昔は禁止されたが今は可能だろうか。パブリックスペースの有効活用の研究などされている。多くの人の目に触れる屋台通りなどを作って、地域づくりをしてはどうか。
企業と協力した居場所作り	・スーパーの空き駐車場の有効利用と居場所作り。● 中川の倉庫街は交流や住宅が少ないので、有効スペースは少ない。 企業が店の一部の場所を提供して、行政や専門職・住民が居場所を作ればよい。
みんなにやさしい街並みづくりをしよう●	
道路の移動等円滑化	・最近車いすが増えてきたので、車いすやベビーカーが通れるように歩道をフラットにしてほしい。
外灯・ミラーを増やす	・車いすやベビーカー、自転車など、暗くて危険を感じるので、道を明るくしてほしい。
人々が愛し合い助けあい喜びに満ち溢れたまちにしよう	
社会の最小単位である家庭を大切にしよう	・朝起きたら第一に感謝して、家族と話し合う。家族は社会の最小単位。夫婦の仲が悪かったら子供にも影響する。家族内でも理解と思いやりをもとう。●

ファシリテーターのまとめ

総論：人々が愛し合い助けあい喜びに満ち溢れたまち●●

1. 将来投資のために子ども&子育て世代を応援しよう
 - ①子どもが楽しく遊べるまちにしよう
 - ②働きづらさを解消して、子育てしやすいまちにしよう
2. 高齢者・障害者がいきいき暮らせるまちにしよう
 - ①アクティブシニアが自分で選べる居場所を作ろう
 - ②独居・病気の高齢者も地域でお互いに見守ろう
 - ③地域の目で、民生委員の負担を減らそう
3. 人が集まる場所づくりをしよう
 - ①中川区のセールスポイントを作る
 - ②企業と協力した居場所作り
4. みんなにやさしい街並みづくりをしよう
 - ①道路の移動等円滑化
 - ②外灯・ミラーを増やす
5. 人々が愛し合い助けあい喜びに満ち溢れたまちにしよう
 - ①社会の最小単位である家庭を大事にしよう

成果物の写真（Cグループ）



テーマ：魅力あふれるまち

<Dグループ>

●：シール投票の結果

地域を巻き込んだ「祭り」をする ●	
コロナで祭りが開催できない	・地域の祭りについて、町内会としては、子ども達が練習している太鼓も発表をさせてあげたい。マスクをすることを前提にして開催したいと思うが、地元の意向と協力が必要なため、意見を聞きたいと思った。 ・町内でアンケートをとったら、32組ある中で9割が反対だった。 ・コロナのせいにしてやりたくないのではないかな。なんでもやろうと思うと面倒くさい。 ・決め方の問題もある。地域の役員は、責任や負担がかかるのでやりたくないと思う。また、最初に強い意見を言ってしまうと、他の人は賛同するしかなくなってしまう。 ・町内会で寄付を出し実施する地域もあるし、そうでない地域もある。 ・子ども達の発散は大事！ 集まらなくてもいいと腹を括り開催した。
コロナで学校の運動会も盛り上がりに欠ける	・学校の運動会も、2～3学年ごとに出場する時間帯が区切られていて分断が生じ、盛り上がりに欠ける。 ・PTAとしては、もっと一緒にやった方がいいという意見だった。
with コロナ、どうする？	・全て、ダメでは、魅力も何もない。 ・「魅力」と言うのであれば、祭りや運動会は開催した方がいいし、地域のコミュニケーションのきっかけになる。 ・with コロナで進める。 ・地域の魅力のあるイベントが、コロナですたすたになった。どうするか？ 上のものが立ち上がるしかない。
仮想して、獅子頭で歩いた	・ハロウィン with 獅子頭みたいに仮想して「わっしょい」をやった。 ・本当は10月10日にお祭りだったのだが、急遽、コロナの関係でいろいろな意見があり、30日にして、ハロウィンが近いので「仮装でしようか」となった。 ・それならば、ソーシャルディスタンスをとることもできる。 →知恵の出どころ！ ・with コロナ、安全面を考えて違うことをやる！
秋祭りは開催している？	・夏祭りは熱中症が心配ということで、10月に変更にした。 ・神社の秋祭りは、神主さんと呼んで役員だけで実施した。 ・私の町内では、区画整理で神社がなくなった。しかし、昔から住んでいる方は、ここに神社があったことを知っているの、祭りは絶やさずやっている。

	・中川区民まつりを、学区単位でも開催してはどうか。 ・尾頭橋の金魚まつりがよい例である。中川区の高校の部活や高齢者の集まり、趣味の集まりなど、いろいろなところから参加している。
これまでの取り組み、開催できないなら知恵を出そう！●	
敬老会のイベント …今年も中止	・敬老会のイベントが今年も中止、どうしよう。 ・私の学区でも敬老会のイベントは中止になった。しかし、お祝い金は、予算的に間に合わなくなったので、今まで75才の人からもらっていたが80才からにして配った。75～80才未満の方には町内で補填してお祝いの品を出した。 ・私の学区では、敬老会は数年前に無くなった。会員数は多かったが、実際参加するのは5～6人。イベントの魅力あるなしに関わらず、高齢になると、そういうところに行きたくなくなる。途中、公園の清掃に変えたがそれも止めた。
盆おどり● …3年開催できていない	・盆おどりは、3年も開催できていない。 ・私は開催した方がよいと思っている。町内会費を集めるときに、引越して来て3年未満の方に、ここはどんな活動をしているのかと聞かれる。あなたの家の前の公園で毎年盆踊りを開催しているが、今年はコロナでできなかったと言い訳しかできない。1回開催すると、新しく来た人もまちに馴染むことができる。来年は開催するぞ！
各町内に、RYÖさんが ほしい（解決策） ※RYÖさんとは、どんな状況でも前向きに捉えて知恵を絞り、「出る杭は打たれて当たり前」と物ごとをぐいぐい進めて結果を出す方。	・私の町内では、お祭りできなかった時に、掲示板を使って防災の「掲示板クイズラリー」を行った。そこに行って問題を解いて、最後に、明德ポストという意見箱を置き、意見を集めるイベントを行った。 ・何かやらないといけないと思った。コロナに負けてはいけない！→各町内に、RYÖさんがほしい。（解決策） ・高齢者の場合、考え方が保守的になりがち。たまに聞く若い人の意見は、納得できることが多い。 ・文句は言われる、「出る杭は打たれる」は前提。杭は出るしかない！
区民の悩みや困りごとに応える「やさしいイベント」を開催しよう！	
病院と提携した講演会	・病院の先生に、地域の人向けに、病気の話など専門的な話を分かりやすく話をしていただけませんかをお願いした。近々、第1回を開催する。 ・私の地域でも、腎臓病についての講演会を行った。最後に、寄付をお願いして5万円いただいた。 ・区民のニーズに伝えていく、やさしい取り組み。
日曜日開催のイベント ～共働きの夫婦も 子育てしやすいように～	・親子が住みやすいまちづくり。 ・行政もいろいろな子育てイベントをしているが、月曜日～土曜日に開催している。 ・共働きの夫婦でも参加できるように、日曜日に開催する行事を行う。

	お母さん達が孤立しないように。 ・中川区は公園が多いというし、小中学校の体育館を借りて親子の触れ合いをしてどうか。
百曲街道の整備で繋がるまちづくり！！●●●●	
百曲街道とは？	・百曲街道は、熱田区六番町から下一色まで続く街道で、お寺が続いている。ぐねぐね曲がっているので、百曲街道と言われている。 ・既に、名古屋市のHP（熱田区や下一色など）にある、「歴史紀行」というパンフレットなどでも紹介されているが、知られていない。 ・現地にはそれをアピールする看板もない。
歩行者にやさしい道づくり	・1号線の一本南側にあり、猛スピードで車が通る。 ・近所を通っている街道は面影がなく、すごい勢いで車が通るので歩行者（お年寄りが多い）が危ない。 ・朝夕は通学路になっている交差点にも、車の列ができています。 ・警察の調査では、スピードは出ていないが交通量は多いとのこと。ただ、何の整備もしていただけていない。 ・歩道をカラー舗装にしたり、バンプをつけてスピードがでないようにしたりすることはできる。 ・百曲街道推して、街道にあたる部分の歩道にカラー舗装がされれば、百曲街道だと分かるし、安全に歩ける道路になるのではないかな。
毎日行きたくなるような公園づくり	・街道沿いに公園がある。その公園の愛護会に参加し、「毎日行きたくなる公園」を目指して、日々活動している。 ・百曲街道を整備、PRしていくことで、公園の管理や活用も進む。
毎年楽しみになるようなお祭りを！	・その街道沿いで、毎年楽しみになるようなお祭りを開催したい。 ・街道は他にもたくさんある。家の近くに佐屋街道があり、きれいになった。道幅は広いのか？ →狭い通りが多い。片側一車線で車がすれ違うことができる幅である。 ・道路幅が無い方が、祭りはやりやすい。 ・裏道の方がリアリティがある。 ・図面上で見ると、極端にいうと通行止めができ、祭りもしやすい。 ・お寺が点在しているので、御朱印集めにもかいい。小さいお寺が多いので、御朱印を出しているか定かではないが。 ・ぜひ、百曲祭りも！
「百曲街道」推して！！	・名前がいい。みんな「何だろう？」と思う。 ・熱田区、中川区、港区に跨がっている。中川区で完結していないところもいい。3つの区で協力してやってみようか。 ・中川区では、前田利家の話題ばかりなので、中川区の魅力にも載せてもらってはどうか。中川区役所も当然知っているが、推しがまだまだ。

7つの川と町並み	
歩いて楽しい町●●	・ウォーキングが楽しい。 ・気軽に犬の散歩ができる町。住宅街だけでは、コンクリートばかりで歩いていてつまらない。農地も商業地もあり、そこで行き交う人に挨拶をしたりする。この犬かわいいね、という会話もしたりする。 ・散歩は、朝夕に2回連れていかないといけない。連れて行く方も、何か刺激がないとさみしい、楽しくない。 ・犬も、そうしながら、人間に慣れて、噛みつかないようにするのはないか。マナーは守らなくてはいいが、そういう町並みがあってほしいと思う。
川のある町●	・戸田川の近くに住んでいる。 ・現在の川の水質の改善を図り、雑草を押さえるため河川敷を舗装して遊歩道を設置、照明を増設して、景観を良くする。さらに、川遊びができ、ペットを散歩できるようにしてはどうか。 ・実現するためには、皆さんに地域の活性化だと思っていただく。 ・防災の観点からは、高台や鉄塔があるといい。 ・庄内川には、小学生がつくしを採りにくる。自然と親しめるよい場所が残っている。
会社同士でまちづくり！！●	
農業や工業の企業間コラボ …新しいプレーヤー	・中川区は、農業と工業の企業がある。会社同士がつながり、まちづくりができるといい。 ・市民ではなく、企業が組織として、どのようにまちづくりに関わっていくかを考えていこう。 ・企業には、協賛金だけでなく、内容でも協力してもらえるといい。
ファシリテーターのまとめ	
＼＼ 前向きに捉えて、新しい企画を ～出る杭、打たれて、あたり前！！～ ／／●●● ・ 「百曲街道」は、推していこう！ まだまだ知られていない中川区の魅力。百曲街道を整備しPRしていくことで、安全な歩道、毎日行きたくなる公園、毎年楽しみなお祭りに繋げよう！ ・ 地域の核は「祭り」。敬老会や盆踊りなど、今までやっていたことができない時には、知恵の出どころ。with コロナで、安全面を考えて違うことをやる！ ・ 区民（とくに、お年寄りや共働きの親など）の不安を解消したり、孤立を防いだりするために、弱い立場にある区民のニーズに応える「やさしいイベント」を開催していきたい。 ・ 川と町並みは、ハードの整備だけではなく、心の触れ合いができるように。 ・ 結論は、学区に1人、RYÖ さん！ コロナや高齢化が進む状況を前向きに捉えて、新しいことを企画し、やっていこう！という人、考え方が大事。その時には「出る杭、打たれてあたり前！」でやっていく。コロナに負けるな！！	

成果物の写真（Dグループ）

